

世界7か国から来日 ジェンダー主流化を推進します

ジェンダー平等や女性のエンパワーメントの推進は、先進国・途上国を問わず、共通の課題として、国際社会において重要なテーマとなっています。

JICA九州では、(公財)アジア女性交流・研究フォーラムの協力のもと、開発途上国のジェンダー主流化推進を担当する行政官を対象に、課題別研修「行政官のためのジェンダー主流化政策」を実施しています。

各研修員は、日本や北九州の政策や取組に関する講義、学校等現場などの視察、講師や研修員同士の学び合いを通じ、性別に基づく差別的な慣行や法律のもとにおかれている人々が個性と能力を発揮できる社会をめざし、自国の政策や事業の計画・実施・評価のどの段階で、どのようにジェンダー視点を導入できるか検討します。

下記日程での取材について、ぜひご検討ください。

1. 研修参加国（7か国7名）

パレスチナ、コソボ、ガーナ、マラウイ、ナイジェリア、南スーダン、タンザニア

2. 研修期間

2018年6月10日～2018年7月12日

3. 取材対象日

日付	時間	研修内容	実施場所
7月3日 (火)	15:20 ～ 15:50	ウーマンワークカフェ北九州（視察） 北九州市が働きたい女性をトータルで支援するために開設した施設を視察します。 働きたい女性の要望や抱えている問題や悩みと、その対応策について学びます。	ウーマンワークカフェ北九州 小倉石北区浅野 ※直接の連絡はお控えください。

【本件に関する問い合わせ先】

取材ご希望の場合は、各対象日の**3日前**までに下記までお申込みください。

JICA九州国際センター 研修業務課 野田、柴田

TEL 093-671-8360 e-mail: kicttp@jica.go.jp